まちの台所事情
平成25年度 決算

市は、4月から翌年3月までの1年間を1区切りにした会計年度ごとに、皆さんが納めた税金など、入ってくるお金(歳入)とそれをどのように使うか(歳出)を決める予算を組み立て、議会の議決を受けて事業を行います。
そして、年度の最後に歳入と歳出、預金や借金の状況を明らかにする決算を行い、議会の承認を受けています。
今月号では、一般会計、特別会計、企業会計の内、一般会計を中心に、平成25年度の決算の内容や財政状況をお知らせします。

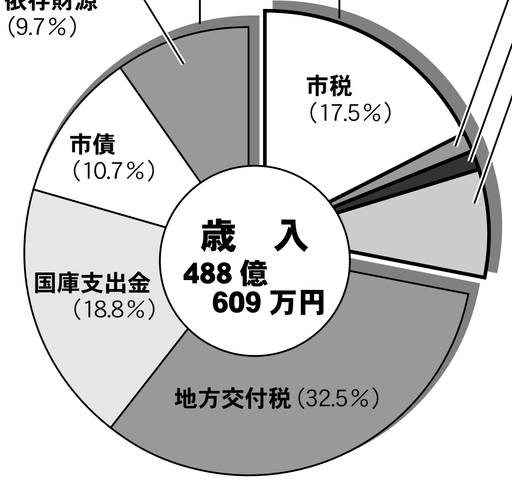
岩見沢市を取り巻く財政環境は、長引く地域経済の低迷による厳しい経済情勢が続いています。全道的には景気動向に回復の兆(きざ)しがあるとされているものの、国が見込むような地方税収の伸びは期待できないなど、財源確保が難しい状況です。
平成25年度は、まず産業・経済の活性化、子育て、健康、福祉、医療の充実など、優先的に対応すべき課題を見極めました。そして、市民本位の市政の実現に向け、広い視野と組織横断的な思考を持ち、課題解決に向けて取り組むことを基本にしました。そのうえで、将来を見据えた行財政基盤の確立を図り、岩見沢市の自立と活性化を目指すため、効率的に事業を展開しました。
今後も厳しい財政状況が続くことが予想されます。市は、平成25年10月に策定した新たな「行財政改革大綱」および「中長期財政計画」を基に、将来にわたって安定して持続可能な財政基盤を確立するための行財政運営を行っていきます。

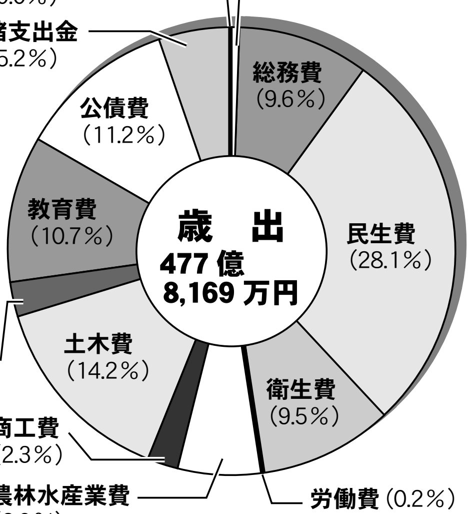
問合先　市財政課

一般会計

依存財源(71.7%)
国などから、基準に基づいて交付されたり、割り当てられたりする財源。

自主財源(28.3%)
市が自主的に得られる財源。自主財源の割合が高いほど、安定した財政基盤を確立できます。





	費目	金額	内容
歳入	市税	85億4,813万円	市民税、固定資産税など
	分担金及び負担金	7億6,338万円	保育料、学校給食費など
	使用料及び手数料	6億7,338万円	市営住宅の家賃、証明書の交付手数料など
	その他の自主財源	38億2,716万円	寄附金、市有財産の貸付料など
	地方交付税	158億3,970万円	国(国税)などからの交付金
	国庫支出金	91億8,076万円	使い道を特定された国からの補助金など
	市債	52億2,720万円	長期的な借入金
	その他の依存財源	47億4,638万円	各種事業に対する交付金など
	歳入合計	488億609万円	
歳出	議会費	3億146万円	議会の運営
	総務費	45億9,537万円	住民票の発行などの一般的な事務
	民生費	134億2,936万円	児童・高齢者・障がい者福祉、生活保護など
	衛生費	45億4,064万円	ごみ処理、健康診断など
	労働費	8,545万円	雇用促進、勤労者福祉など
	農林水産業費	28億5,590万円	農業・林業・畜産の振興など
	商工費	10億8,172万円	商工業の発展、観光の振興など
	土木費	67億9,945万円	道路・公園・市営住宅の整備、除排雪など
	消防費	11億5,790万円	消防署の運営
	教育費	50億8,769万円	小・中学校教育、生涯学習など
	公債費	53億3,808万円	借入金の元金と利子の返済
	諸支出金	25億440万円	公社への貸し付け
	災害復旧費	427万円	災害による被害の復旧
	歳出合計	477億8,169万円	

平成25年度に行った主な事業

いわみざわ公園バラ園の改修

ブックスタート事業

ごみ・環境総合案内所クリーンエコの設置

生涯学習センターいわなびの建設

市有財産の状況(平成25年度末)

区分	現在高
建物	548,486㎡
土地	28,283,957㎡
うち山林	17,061,897㎡
機械器具(車両)	249台
基金	土地 512,656㎡ 現金 139億7,494万円
有価証券	5,722万円
出資による権利	7億3,537万円

市債の残高(平成25年度末)

各会計	現在高
一般会計	497億2,636万円
特別会計	5億2,530万円
公共用地等造成費	3,058万円
公設卸売市場費	8,555万円
高等学校費	1億7,602万円
農業集落排水事業費	2億3,315万円
合計	502億5,166万円

❍市税の負担状況(平成25年度)

金額	85億4,813万円
1人当たり	98,646円
1世帯当たり	202,241円

人口　86,655人
世帯数　42,267世帯
(平成26年3月31日現在)

次頁では、この平成25年度決算を家計に置き換えてみました。皆さんの家計と比較してみては。

健全化判断比率などをお知らせします

❑健全化判断比率

指標名	岩見沢市	早期健全化準	財政再生基準	説明
実質赤字比率	黒字	12.08%	20%	一般会計等の赤字を市税等の財源規模と比較する割合
連結実質赤字比率	黒字	17.08%	30%	一般会計のほか、特別会計、企業会計すべての会計の赤字を市税等の財源規模と比較する割合
実質公債費比率	10.6%	25%	35%	財政規模に対する借入金の返済額およびこれに準じる額の割合
将来負担比率	41.7%	350%		一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの割合

岩見沢市はいずれの指標も基準を下回っています。早期健全化基準を上回った場合は自治体で計画を立てて自主的に、財政再生基準を上回った場合は国などの関与の下で、それぞれ財政再建することとなります。

❑資金不足比率(特別会計、企業会計)

指標名	会計名と割合	経営健全化基準	説明
資金不足比率	資金不足を生じている会計はありません	20%	国民健康保険費、介護保険費、後期高齢者医療費を除く特別会計と企業会計の資金不足を料金収入の規模と比較する割合

家計にたとえると…

市の平成25年度の決算をわかりやすくするため、家計にたとえてみました。

他に頼らなければならないお金（依存財源）として、「親などからの支援」が61％を占めており、家計として考えると現実的な数字ではありません。その依存財源ではなく、自主財源の割合をいかに増やすかが重要になってきます。

皆さんの家計でも、収入の基本である給与が増えると家計が楽になりますよね。ただどうしても生活イベントに合わせて必要な出費はあり、どなたも厳しい中、やりくりをしているのではないでしょうか。

今のところ市は、貯金を取り崩すなどしてやりくりをしていますが、皆さんの家庭でこんなことを長く続けていれば、いずれは貯金が底を突いて借金に頼る生活になり、最後は破産してしまいます。

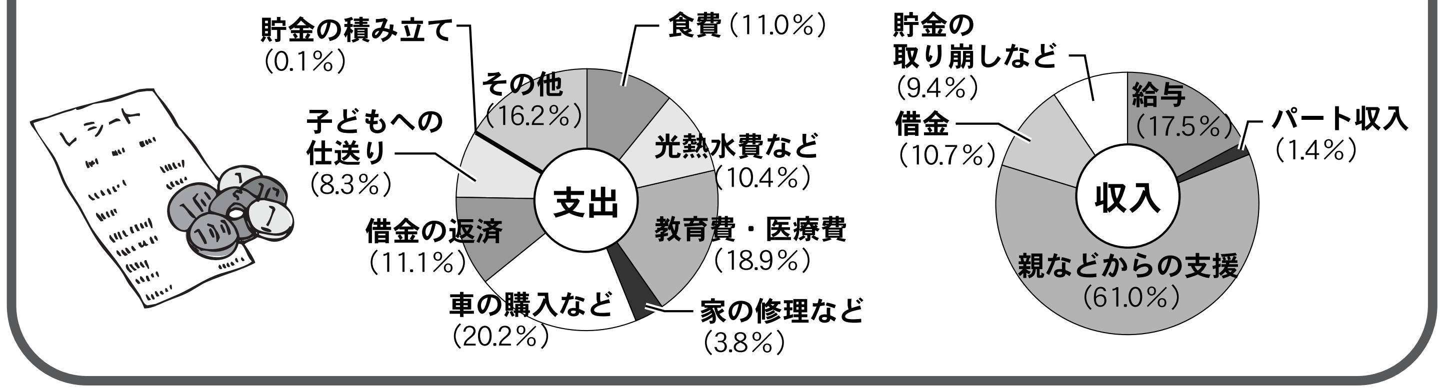
そうならないよう市は、税金などの徴収率を上げるなど、支出を抑えながらも効率的・効果的な予算執行に努め、規律ある財政運営を行っているのです。

一般会計の決算488億円を家計と比較しやすいように、用途別の費目を性質別に分けてあります。

	費目（性質別）	金　額	内　容
収入	市税	85億4,813万円	市民税、固定資産税など
収入	使用料・手数料	6億7,338万円	施設使用料、証明書の交付手数料など
収入	依存財源	297億6,684万円	交付税、国・道からの補助金など
収入	市債	52億2,720万円	国や銀行からの借入金
収入	その他	45億9,054万円	基金取り崩しや預託金の償還など
収入	収入合計	488億609万円	
支出	人件費	52億4,854万円	職員の給与、議員報酬など
支出	物件費	49億7,909万円	物品の購入、光熱水費など
支出	扶助費	90億4,420万円	高齢者・児童福祉、生活保護など
支出	維持補修費	17億9,032万円	除排雪、施設の維持など
支出	普通建設事業費	96億6,491万円	道路、公園、学校などの建設費
支出	公債費	53億3,375万円	借入金の償還、利子
支出	繰出金	39億3,549万円	他会計への繰り出し
支出	積立金	4,570万円	基金への積立
支出	その他	77億3,969万円	補助金、財団法人への出資など
支出	支出合計	477億8,169万円	
	基金（現金）残高	139億7,494万円	積み立てられた基金の残高
	市債残高	497億2,636万円	国や銀行からの借入金の残高

家計の年収を480万円とすると月収は40万円

費　目	金　額
給与	70,000円
パート収入	5,600円
親などからの支援	244,000円
借金	42,800円
貯金の取り崩しなど	37,600円
1か月の収入合計	400,000円
食費	43,200円
光熱水費など	40,800円
教育費・医療費	74,000円
家の修理など	14,800円
車の購入など	79,200円
借金の返済	43,600円
子どもへの仕送り	32,400円
貯金の積み立て	400円
その他	63,600円
1か月の支出合計	392,000円
預貯金残高	1,374,000円
ローン残高	4,891,000円



特別会計

特定の収入があり、目的ごとに使い道をはっきりさせるための会計

各特別会計	収　入	支　出	差　引
国民健康保険費	104億8,288万円	108億6,594万円	△3億8,306万円
と畜場費	2億2,066万円	2億1,585万円	481万円
公共用地等造成費	2,436万円	1億5,760万円	△1億3,324万円
公設卸売市場費	4,671万円	4,442万円	229万円
高等学校費	5億7,267万円	5億7,190万円	77万円
企業用地造成費	2,396万円	2億5,617万円	△2億3,221万円
農業集落排水事業費	8,006万円	7,931万円	75万円
介護保険費	71億2,174万円	69億1,479万円	2億695万円
後期高齢者医療費	12億1,286万円	12億1,057万円	229万円
合計	197億8,590万円	203億1,655万円	△5億3,065万円

企業会計

水道や病院など、民間企業と同じように、料金などの収益で運営する会計

収益的とは
年度内の経営活動の収入と、それに対応するすべての費用

資本的とは
将来の経営活動に備えて行う、施設の整備などの費用とその財源収入

各企業会計		収　入	支　出	差　引
病院事業	収益的	110億73万円	107億6,012万円	2億4,061万円
	資本的	3億6,319万円	9億466万円	△5億4,147万円
水道事業	収益的	17億1,867万円	13億7,880万円	3億3,987万円
	資本的	5億1,074万円	13億2,201万円	△8億1,127万円
下水道事業	収益的	21億8,543万円	16億6,318万円	5億2,225万円
	資本的	8億4,536万円	21億4,244万円	△12億9,708万円

※資本的収支の赤字分については、当年度純利益などで補てんしました。

【病院事業】
- ●市立総合病院
  1日平均　入院　392人　外来　978人
- ●市立栗沢病院
  1日平均　入院　64人　外来　59人

【水道事業】

給水戸数	43,545戸
給水人口	86,581人
総配水量	10,270,626㎥
1日平均配水量	28,139㎥

【下水道事業】

処理区域面積	2,361ha
普及率	86.0％
水洗化率	98.0％
処理水量	11,639,826㎥

ふるさと応援寄附

寄附の際に指定いただいた使途に基づき基金に積み立て、それぞれの事業の財源に充て、まちづくりに活用しています。

問合先　市企画室

平成25年度 市外にお住まいの方からの寄附金 340件 9,037,501円

今月も、たくさんの寄附ありがとうございました

※掲載の許可をいただいた方。

ふるさとづくり推進事業に…早川拓郎さん（東京都世田谷区）、山谷浩孝さん（千歳市）、甲斐賢二郎さん（福岡県福岡市）、井出敏夫さん（東京都荒川区）、畠山孝さん（神奈川県横浜市）、穴村由美子さん（神奈川県横浜市）、北川光一さん（神奈川県藤沢市）、橋本康孝さん（福岡県福岡市）、木下恵介さん（兵庫県神戸市）、森永浩太郎さん（兵庫県神戸市）、境太造さん（和歌山県田辺市）

観光振興事業に…服部瑞樹さん（富山県富山市）、山田誠さん（東京都中央区）、源野昭治さん（兵庫県明石市）

農業振興事業に…沢田和雪さん（東京都墨田区）、堀潤さん（東京都小金井市）、和田辰仁さん（愛知県岡崎市）、石橋貞利さん（長崎県松浦市）

青少年健全育成事業に…池田清さん（栃木県小山市）、鬼塚哲郎さん（東京都港区）、森本博仁さん（神奈川県横浜市）、丸山将孝さん（埼玉県富士見市）、原昭太さん（大阪府岸和田市）、尾崎隼平さん（東京都大田区）、今井啓太さん（東京都町田市）、望月明さん（茨城県水戸市）、漆原誠治さん（岩手県九戸村）

スポーツ・文化振興事業に…脇田圭生さん（神奈川県横浜市）